

ポチ男、と名付け 『リンダ リンダ リンダ』『苦役列車』

山下敦弘監督 最新作

そ の

鈴木紗理奈 川原克己(天竺胤) 松岡依都美 宇野祥平 松澤匠 野口貴史 康すおん 赤犬





記憶の底から吐き出された歌が、全てを変えてくれるような気がした――。

14(土)ロードショー

数量限定!特製クリアファイル付 特別鑑賞券・ムビチケカード 1,400 円(税込)

※取扱い券種等、詳しくは劇場スタッフまでお問い合わせください。 ※特典は劇場窓口でご購入の方に限ります。なくなり次第終了。



ポチ男から溢れ出る歌は、 色あせたカスミの心に輝きを取り戻す。

『リンダリンダリンダ』『苦役列車』『もらとりあむタマ子』など、オリジナリティ溢れる 一手 を 描くことに定評のある山下敦弘監督が、今回初めて大阪を舞台に、音楽をふんだんに 使った人間ドラマを描く。山下監督のもと、才能を爆発させ圧倒的な魅力を放つのは、 **渋谷すばる。俳優**として高く評価されながらも、〈歌い手〉であることにこだわり続けてきた 彼は、本作で「歌しか記憶がない男」というキャラクターと出会い、満を持して主演 に挑む。共演するのは、『ヒミズ』『私の男』などの出演作で国内外問わず高い評価を受け、若干 二十歳にして日本映画界に欠かせない女優となった二階堂ふみ。 渋谷演じる記憶 喪失の男を拾って'ポチ男'と名付け、自分の家に住まわせる逞しくも一風変わったヒロイン・ カスミ役を演じ、唯一無二の存在感を放つ。脇を固めるのは、大阪や音楽に縁の深い赤犬や 鈴木紗理奈、さらに天竺鼠の川原克己など、バラエティに富んだ面々。観る者、聴く者の心 を掴んで離さない、新たなる化学反応エンタテインメントがここに 誕生した!





大阪。広場で行われていたバンド【赤犬】のライブに、ふらふらと現れた男(渋谷すばる)。マイクを奪い、声を放つや、会場は水をうったように静まりかえる。圧巻の歌声! そのまま気を失った男だったが、

目を覚ますと自分のことを何も覚えていないという。記憶喪失。傷だらけの顔。その正体と歌声に興味を持った【赤犬】マネージャーのカスミ(二階堂ふみ)は、彼を"ポチ男"と名付け、祖父と暮らす自分の家に 住まわせながら、バンドのボーカルに迎えようとする。しかし、フラッシュバックで少しずつポチ男の記憶が蘇る――「俺は、危険かもしれない」。それぞれの中で止まっていた時間が、また動き始める。

渋谷すばる「ココロオドレバ」「記憶」 (インフィニティ・レコーズ)

主題歌

「ココロオドレバ」は、POPな歌の中にポチ男のココロの変化が見え隠れする本編を語る上で重要な1曲。「記憶」は、映画全体と 向かい合ったアンサーソング。記憶の中にある葛藤を歌う等身大の1曲。まったく音色の異なる2曲の主題歌が希望と哀調を奏でる。



ユニバースは、そのビルに入る老舗の豪華キャバレー。2011年キャバレー営業終了後は、その名のまま貸しホールとなり、若者たちのライブ会場 としても人気が高い。新宿ゴールデン街と並ぶ、日本サブカルチャー文化の発信地、アングラ芸術の発祥地として注目スポットとなっている。